

## 【教科横断型授業 2学年 英語×地理】

授業日時：令和7年6月17日 4限目

対象クラス：25HR

教科：英語コミュニケーションⅡ

授業者：松岡洋介 三宅千春

単元(教材)名

Lesson 2 The Diversity of Traditional Houses

### 【この単元のねらい・目標】

各地の伝統的な住居の特徴と、現代におけるその価値について考えさせる。伝統的な住居はこれからどのようにあるべきか、その意義についても改めて考えさせ、自分なりの英語で表現させたい。

### 【本時のねらい・目標】

本文あるいは本文に関連する内容について事実や自分の考え、気持ちを論理的にまとめながら適切に話したり、書いたり伝えあったりすることで主体的に学習に取り組む態度をみつける。

### 【この教材で特に意識する「科学的思考力 (SW-ing SLC)】

項目	内容
A 他者と協働する力	iii: 自分と他者の意見を比較・関係づけ、意見をより深化・発展させる
E 考察・統合力	i:これまでの経験や学習によって得た知識や情報を統合して推測したり課題についての自分の意見や考察を論理的に組み立てたりする。

### 【教材開発において特に意識したこと・工夫】

英語の本文に関する、地理的・歴史的な情報を補完してもらうことで、更に内容を深く理解させたい。教科横断型授業における、地理と英語のつながりを生徒が気づくことができるよう、スライドでは共通点を強調しながら授業をする。

### 【全体の指導計画(全6時間)】

1時間目 Lesson 2 導入	2時間目 Lesson 2-1
3時間目 Lesson 2-2	4時間目 Lesson 2-3
5時間目 Lesson 2-4	6時間目 Lesson 2 まとめ(本時)

### 【本時の授業展開】

時間	内容
2分	(英語・地理)導入 既習事項の確認 Greece の例を踏まえて
10分	(英語) Lesson2 のまとめを英語で表現する活動
10分	(地理) 建築素材と、気候の関わりを地理的な視点から解説する
15分	(地理) 伝統的な家屋の保存で成功した例と、うまく行かなかった例について考える
10分	(英語) 伝統的な家屋を残すことについての、3人の立場からの意見をお互いに発表し合う
5分	(英語) 3者の意見を踏まえて、自分はどう考えるかを英語で表現する
3分	(英語・地理) QR コードでアンケートに答える

